

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	富山県滑川市教育委員会			代表者名	上田 良美
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	生涯学習・スポーツ課	連絡先電話番号	076-475-1483
担当者役職	係長	担当者氏名	荒田 雄一郎	連絡先E-mail	
住所	936-8601 富山県滑川市寺家町104番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	青少年健全育成事業		
概要	青少年育成滑川市民会議の会員として、自律的にデジタル社会と関わる「デジタル・シチズンシップ」の考え方を基盤に、これからの超スマート社会において、違法・有害な情報や誤った情報に惑わされないための適切なデジタル活用法を学ぶ。それによって「メディア・リテラシー」を習得し、次世代の子供たちを支えるための方策について理解を深める。				
支援を求める分野	教育情報化／情報教育				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月5日	講演(実地)	18時35分	19時40分	
			活動時間（分）	65	
2-2. 派遣場所	会場名	滑川市役所	最寄駅	滑川駅	
	所在地	富山県滑川市寺家町104番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山西 潤一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	非常に穏やかに受講者に語りかけていただき、また、問いかけに対して回答する双方向性の講義形式で、受講者の意識の集中が途切れることなく研修を終えることが出来た。内容も、AIデジタル化の最先端の技術を拝見でき、また、その社会の諸相を教えていただき、今の時代の立ち位置を意識することが出来、若者のネット空間がどのようになっているかを知ることが出来た。「エコーチェンバー現象」や「フィルターバブル現象」に対する処方箋を教えていただき、情報的健康であるためのポイントを学んべた。さらに「メディア・リテラシーかるた」やネット内のメディア・リテラシーを教えるサイトを実演していただき、会員自身で、自身の「メディア・リテラシー」を向上する方法を知ることが出来、会員の関わる青少年に対しても活用できることを知れたため。
アドバイザーへの要望事項	実際に「メディア・リテラシーかるた」のゲームをするときの、有効なファシリテートを講師の先生に実演して欲しかった。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	23人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	2		21		

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	青少年健全育成事業では、少年補導委員が地域社会で夜間の巡回や日常的な見守り、声かけなどの地道な活動を中心に行っている。しかし、スマートフォンやタブレットの普及に伴い、青少年がSNSやインターネットを起因とするトラブルに巻き込まれるケースが増えている一方で、その防止策や危険性の周知を目的とした普及啓発活動は十分に進んでいない。従来の巡回補導では、インターネット上のトラブルに対応することが難しく、その対策のあり方に限界を感じている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	令和7年8月5日に「青少年育成滑川市民会議」の研修会を開催する。本研修会では青少年育成に関係する各種団体の代表に、「メディア・リテラシー」をテーマに学んでいただく。令和8年3月までに各団体内でその内容を周知・共有してもらい、各団体が関わる青少年に教育をする。これらを通じ、青少年の「メディア・リテラシー」が向上し、インターネット上のトラブルを回避する環境を構築することができ、青少年の幸福につなげる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	市が事務局を務める「青少年育成滑川市民会議」が主催となり、団体会員23名と県青少年育成県民運動推進指導員8名を対象に、「メディア・リテラシー」をテーマとした研修会を実施した。研修では、NHK財団が開発した「メディア・リテラシーかるた」の開発に携わった専門講師をアドバイザーを招き、かるたを活用し、子どもと楽しく学ぶためのきっかけを普及できる人材の育成を目指した。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	「青少年育成滑川市民会議」が主催となり実施した研修会には、団体会員15名と県青少年育成県民運動推進指導員6名が参加した。講師の山西潤一先生には、「情報的健康でデジタル社会を元気に歩こう」と題して、AI等デジタル化の進む社会の諸相から、情報的健康のポイントまでを学び、青少年を取り巻くネット空間と、その対応策を学んだ。中でも、NHK財団が開発した「メディア・リテラシーかるた」を活用したゲーム形式の講義により、楽しく集中して、ネット空間の当事者として自覚的に学ぶことが出来た。そのため、青少年と携わる会員にとって、青少年へ「メディア・リテラシー」を教える必要性を今まで以上に感じる事が出来、教えるためのツールも手に入れることが出来た。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑤組織業務改善ができた 青少年がSNSやインターネットを起因とするトラブルは、「エコーチェンバー現象」や「フィルターバブル現象」が原因であることが分かり、「メディア・リテラシーかるた」やネット内でのメディア・リテラシーを教えるサイトなどを用いて、防止策や危険性の普及啓発活動が出来るようになった。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	会員の時間の都合上、1時間の研修時間での設定であったが、時間が許せば研修会の開催時間を拡大し、実際に「メディア・リテラシーかるた」のゲームを会員同士で実施してみたかった。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今後、研修で学んだことを各団体内で共有してもらい、その成果のフィードバックをもらう予定のため、今回はアンケートを実施しなかった。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある 「メディア・リテラシーかるた」やネット内でのメディア・リテラシーを教えるサイトなどを、各団体内でその内容を周知・共有してもらい、各団体が関わる青少年に教育をする。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	青少年の「メディア・リテラシー」が向上し、インターネット上のトラブルを回避する環境を構築することができ、青少年の幸福につなげる。

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

